

## 補足資料 (1) リーグ戦並びに大会再開に当たっての留意事項

サッカーを楽しむために、求められているのは「新しい生活様式」に則った一人ひとりの行動と大会運営です。

煩わしいことも多々ありますが、ご自身や、周りの方、そして地域を感染拡大から守るため、実践していただくようお願いします。



選手・指導者並びに関係者から感染あるいは濃厚接触者が発生した場合、速やかに連絡手順に従って対応すること

### 感染防止の3つの基本

- ①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い
- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける
  - 会話や食事の際は、可能な限り真正面を避ける
  - 会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する  
ただし、夏場は、熱中症に十分注意する
  - 家に帰ったらまず手と顔を洗う
  - 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う  
（手指消毒薬の使用が望ましい）

- . . .  提出された「エントリー・メンバー表」確認

### 《本部の役割》

- . . .  参加者（選手・コーチ・観客等）名簿確認
- . . .  提示された「（選手・コーチ）健康チェックシート」確認
- . . .  メンバー表確認（本部はメンバーチェックを行わない）
- . . .  メンバーチェックは、審判員がベンチで行う

### 《施設の使用ルールを遵守するよう指導》

- . . .  施設の使用ルールを確認の上、遵守するよう指導  
（施設によっては接触部の消毒を求められる場合がある）

### 《本部からチームへの伝達事項》

- ・ 両チームのベンチ挨拶、相手チーム及び審判との握手はしない
- ・ 円陣や得点時にハイタッチ・抱擁はしない
- ・ ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐いたり口に含んだ水を吐くなどの行為をしない
- ・ 水・氷を溜めたクーラーボックスやタオルは共用しない
- ・ ピッチ上でチームメイト・審判と会話する際の距離に配慮する
- ・ ベンチではマスクを着用し、会話を控える
- ・ 入・退場時の混雑を防ぐため、両チーム及び審判員はそれぞれ分かれて入場する

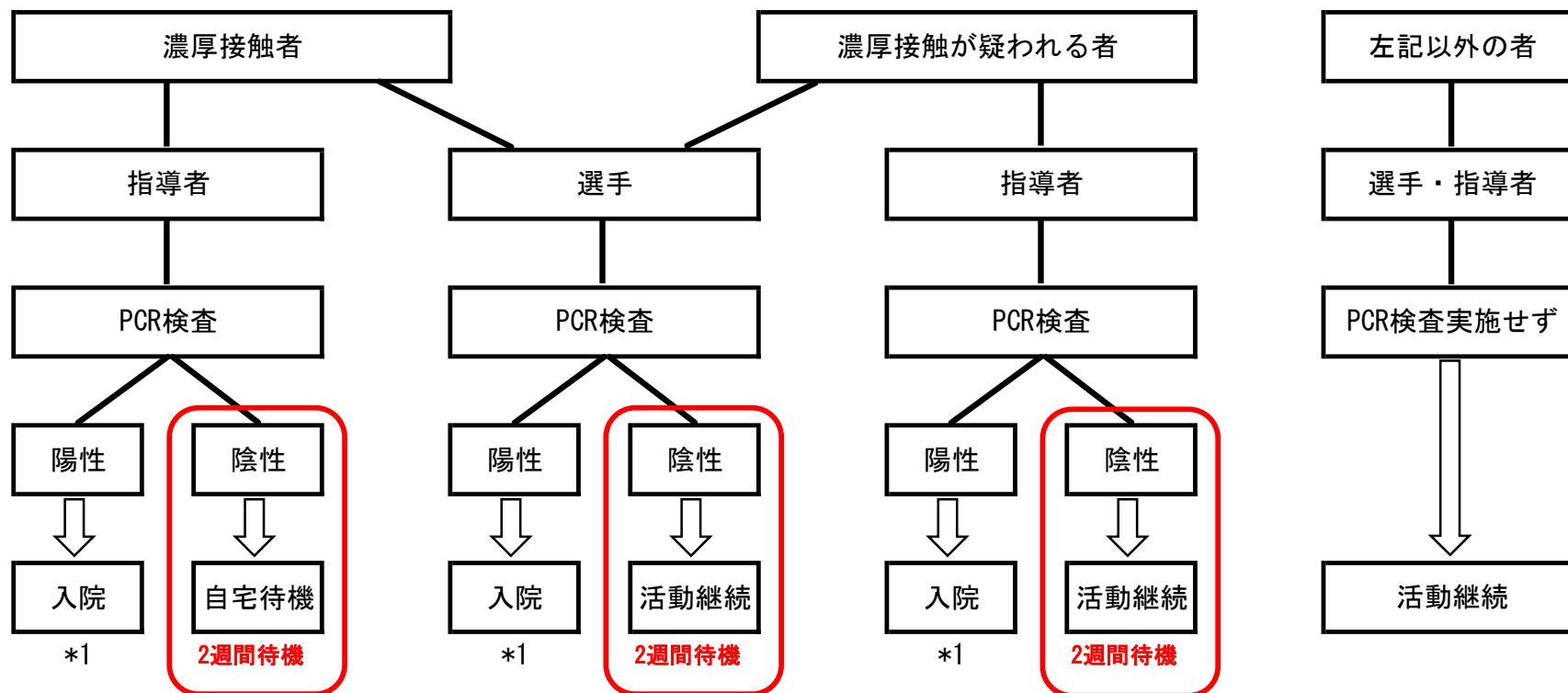
## 補足資料(2) 新型コロナウイルス感染症(PCR陽性)と診断された者(患者)との接触者の対応について

1. 新型コロナウイルス感染症 濃厚接触者の定義(参考:国立感染症研究所感染症疫学センター 4/27発表)・・・最終的には、保健所の判断になる。

- ・患者(確定例)と同居あるいは長時間の接触(車内、航空機内等)があった者
- ・適切な感染防護無しに患者(確定例)を診察、看護もしくは介護していた者
- ・患者(確定例)の気道分泌物もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- ・その他:手で触れることのできる距離(目安として1メートル)で、必要な感染予防策無しで、患者(確定例)と15分以上の接触があった者(周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する)

2. 患者から、感染する可能性のある期間

- ・患者が、新型コロナウイルス感染症を疑う症状を呈した2日前から隔離開始までの期間



\*1 高齢者や基礎疾患を有する者は原則入院となるが、それ以外は自宅療養等、症状によって変わる。いずれにしても保健所の判断となり指示に従う。

補足資料 (3) 新型コロナウイルス感染症に感染もしくは濃厚接触の疑いがある場合の連絡手順 (相談・検査・報告の流れ)

※体調に異常を感じた際は、速やかに「帰国者・接触者電話相談センター」もしくは近くの医療機関に電話で相談の上、指示に従う。

